

リポーン 伊那在来そばREBORNプロジェクト 増殖のため今年も播種を行います

かつて伊那市(西部地域)で栽培されていたとされる在来品種「伊那在来そば」の復活事業も、今年で4年目を迎えました。昨年は約12,000粒播種し約234,440粒に増殖。そばの麺加工による食味調査も実施し、少しずつ伊那在来そばの特性が判明してきました。この品種の生産を再開させることにより伊那市のそば振興につながることを期待されます。今年は「伊那在来そば」の増殖に加え、さらなる特性調査や試供販売を行うため播種を行います。



■伊那在来そば

遺伝資源を保存する国の研究機関、ジーンバンクに「伊那在来そば」が保存されており、1980年代の論文に記述が多く残り、伊那地域(西部地域)で栽培されていたようですが、性質や特徴、味など詳しいデータは残っていないため、信州大学と協力して増殖、調査を行っています。

1 播種日程及び会場

令和8年7月15日(水): 信州大学内圃場(実施済み)

令和8年7月16日(木): 荒井内の萱圃場(実施済み)

令和8年8月4日(火) 9時00分から: 信州大学内圃場

13時00分から: 荒井内の萱圃場

現地に取材される場合、下記問い合わせ先に一報ご連絡ください。

2 添付資料 ☒ 有 ☐ 無

お問い合わせ

添付資料 信州大学そばの播種圃場 8月4日（火）午前9時から



「伊那在来そば」を播く圃場

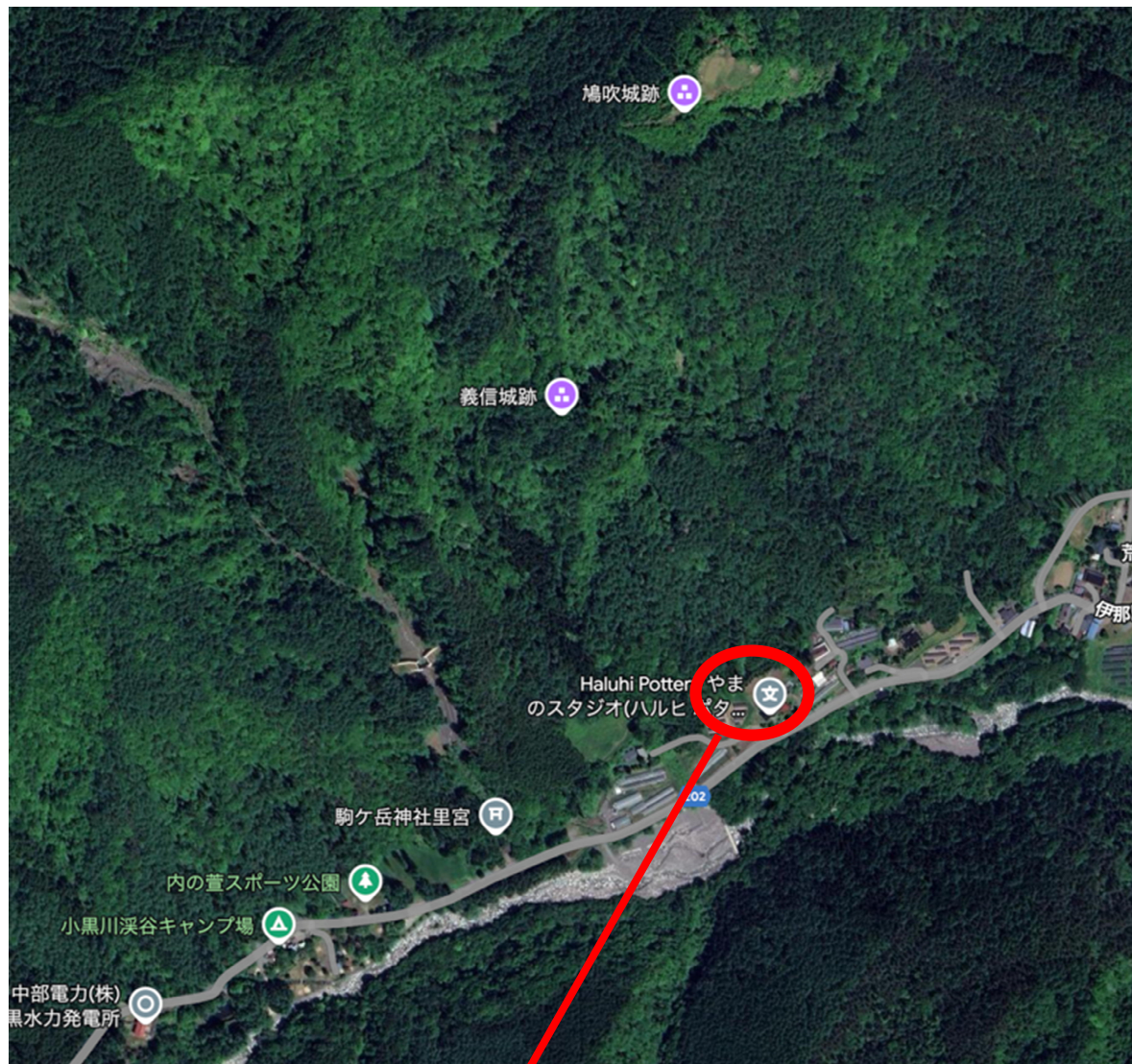


駐車場

圃場

添付資料 そば播種圃場（内の萱 7165-2）

8月4日（火）午後1時から播種予定



伊那在来そば播種圃場



伊那在来そば播種圃場

